

新成人の皆様へ

令和3年、晴れて成人となられた皆さん、ご成人おめでとうございます。新成人を今日まで深い愛情で愛しみ育ててこられたご両親をはじめ、ご家族の皆様にも心からのお慶びを申し上げます。また、学校で教育にあられた恩師の先生方や温かく見守ってこられた地域の方々に感謝と敬意を表したいと存じます。

さて、皆さんが生まれた今から20年前、それまで1月15日であった成人の日がハッピーマンデー制度導入により1月の第二月曜日に変更になりました。皆さんは、まさに新しい成人の日の制度が始まった時期に生まれたことになり、時代の変革期に生まれた世代であることを感じさせます。今年は新型コロナ禍の中にあって成人式の開催が延期され、それでもなんとか開催して皆さんの成人を祝いたいと願っていましたが、このような形で励ましの言葉を贈ることになりました。

成人となられた皆さんは、晴れて大人の仲間入りをされ、法的にも権利や義務を与えられ、社会人としての責任ある行動が求められる、いわば「人生の大きな節目」を迎えられました。また、社会の一員として、ふるさと甲佐町をはじめ地域社会や国家・国民のために貢献し、未来社会を担うという重い責任もまた、皆さんの肩に掛かってきます。「成人」であるということと、「大人」であることは同じではありません。皆さんは二十歳になり民法上では「成人」となりました。一方「大人」とは、国家・国民、社会のために思慮分別を持ち、責任を持って判断し行動できる人間のことです。この自覚のもと、自分の責任の下で大人としての行動が求められることとなります。

私は例年このことを新成人に伝えてきました。皆さんには更にもう一つ伝えたいことがあります。それは、これからの人生を通し、年を重ねても「子どもの心」を無くさずにいてほしい、ということです。「大人であれ」と相反する言葉のようですが、純真で、夢に憧れ、成長する勢いに満ちた「子どものような心」を生涯失わないで欲しいと願ってやみません。

さて、熊本地震と豪雨災害から5年が過ぎました。復興は進んだものの、その傷跡は今もなお残っています。また、去年は7月豪雨により県南をはじめ熊本県下で甚大な被害がありました。また、今も続く新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延により、オリンピックの延期や学校の一斉臨時休校をはじめ、私達の生活は大きな影響を受けました。

近年、世界中で大きな自然災害が多発しています。皆さんが歩み出す未来もまた、決して平穏な時ばかりではないでしょう。皆さんの故郷、ここ甲佐町も急速に進む高齢化や人口流出等の現実と直面しています。これらの課題や不安に対

峙し、我が国と我が町を力強く支え、「ソサエティ5.0」と呼ばれる新たな未来社会を明るく切り開いていけるのは、皆様方若者の力に他ありません。1年延期とはなりましたが、無事開催された「東京2020」オリンピックでの日本選手の若さ溢れるひたむきな姿は、コロナ禍の中に、ややもすれば沈みがちな私たち日本国民に勇気と希望を与えてくれました。

成人を迎えられた皆さんに、熊本地震・豪雨災害から立ち上がり、希望に満ちた新しい故郷を作っていく、若く希望に満ちた力となって頂くことを、心から期待するものです。

結びに、新成人の皆さんの輝かしい門出と、洋々たる前途に心からのエールを送りますと共に、新成人とご家族の皆様のご健勝と御多幸を祈念申し上げ、励ましの言葉といたします。

甲佐町教育長 蔵 田 勇 治